

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	岩手県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	釜石市立鶴住居小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	19
児童数	59	60	56	56	59	44	3	337	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」を身に付け、それを生かそうとする児童の育成をめざして

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 全学年・国語科
児童の実態調査の結果から、特に「読み」に関する学力の低下が見られるため。
- ・ 全学年・算数科
児童の実態調査の結果から、学力の差が出やすく、学年が進むにつれてその差が広がる傾向が見られるため。特に4・5・6学年では、習熟度別少人数指導を取り入れている。
- ・ 第3・4・5・6学年・理科
教師が専門性を身に付け、児童自ら学習を深められるような授業実践に当たるため。

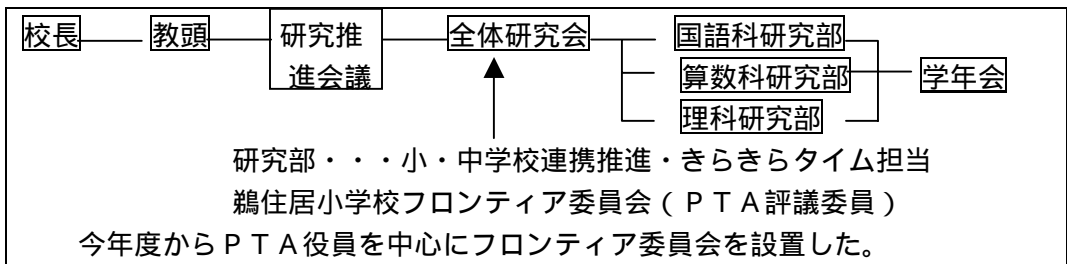
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「確かな学力」を身に付け、それを生かそうとする児童の育成をめざして</p> <p>仮 説 各教科（特に算数科・理科）の授業で、指導体制や指導形態、指導過程を見直し個に応じたきめ細かな指導を行うことで、児童一人一人に「確かな学力」が身に付き、それを生かそうとする児童が育つであろう。</p> <p>研究方法・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上フロンティアスクールに課せられた実践（研究）に関する理論研究 ・ 指導体制（教科担任制）、指導形態（少人数指導）、指導過程（補充的・発展的内容の学習の取り入れ、児童に生きる評価の在り方など）の研究と実践 ・ 小・中学校連携による学習のスムーズな引継ぎ、協力など
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 「確かな学力」を身に付け、それを生かそうとする児童の育成をめざして</p> <p>研究の見通し 各教科（特に国語科・算数科・理科）の授業で、指導体制や指導形態、指導過程を見直し個に応じたきめ細かな指導を行うことで、児童一人一人に「確かな学力」が身に付き、それを生かそうとする児童が育つであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導体制（教科担任制）、指導形態（少人数指導）、指導過程（補充的・発展的内容の学習の取り入れ、児童に生きる評価の在り方など）の研究と実践 ・ 小中連携による情報交換、学習のスムーズな引継ぎの研究と実践など
--------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 「確かな学力」を身に付け、それを生かそうとする児童の育成をめざして 研究の見直し 各教科（特に国語科・算数科・理科）の授業で、指導体制や指導形態、指 導過程を見直し個に応じたきめ細かな指導を行うことで、児童一人一人に「確 かな学力」が身に付き、それを生かそうとする児童が育つであろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・ 指導体制（教科担任制）、指導形態（少人数指導）、指導過程（補充的・ 発展的内容の学習の充実、児童に生きる評価の在り方など）の研究と実践 ・ 小・中学校連携による情報交換、学習のスムーズな引継ぎの研究と実践 など</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

平成15年度C R T結果（全国比）

国語科得点率				
学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
本校得点率	74.3	74.3	76.9	77.4
全国得点率	71.5	74.8	74	77.9
差	2.8	-0.5	2.9	-0.5

算数科得点率				
学 年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
本校得点率	84.6	77.6	73.6	72.1
全国得点率	78	75.2	70.5	72.8
差	6.6	2.4	3.1	-0.7

理科得点率				
学 年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
本校得点率	77.4	83.1	77.9	83
全国得点率	77.7	76.5	77.2	80.7
差	-0.3	6.6	0.7	2.3

成果
算数科と理科に関しては、「確かな学力」を身に付ける手立てとしての指導形態（算数科・少人数指導）指導体制（理科・教科担任制）指導過程が明らかになりつつあり、それが児童に生かされている様子がみられる。また、年次ごとのN R T結果による「知能との関連」をみると、年々アンダーアチーバーの児童の割合が減っている様子が表れている。

2. 今後の課題

国語科の研究推進・・・効果的な指導過程を明らかにし、焦点を絞った「確かな学力」を身に付けさせるための手立てを明らかにしていかなければならないこと。
算数科・理科の工夫・・・さらに学習内容の定着を図るため、効果的な手立てをとっていかなければならないこと。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ 定期的な学力調査の実施（C R T、N R T）
- ・ 事前テスト、事後テスト結果による有効度指数の把握
- ・ 児童アンケートによる関心・態度・意欲面の調査
- ・ 単元ごとの評価テストの分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会、説明会等の開催予定

- ・ 平成 16 年度学校公開予定

日 時 平成 16 年 10 月の予定

場 所 本校（授業公開）

釜石市立釜石東中学校（全体会、分科会）

テーマ 「確かな学力」を身に付けそれを生かそうとする児童の育成をめざして

～ 国語科、算数科（少人数指導）、理科（教科担任制）、小・中学校連携を中心として ～

研究成果普及のためのHP作成予定

- ・ 平成 15 年度中にHPを開設予定

研究成果の他校への反響

- ・ 県内小学校、他県小学校からの問い合わせあり

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|----------------------------|-------------------|------------------|----|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下
13～18学級
25学級以上 | 7～12学級
19～24学級 | | |
| 【指導体制】 | 少人数指導
一部教科担任制 | T・Tによる指導
その他 | | |
| 【研究教科】 | 国語
生活
体育 | 社会
音楽
その他 | 算数
図画工作
家庭 | 理科 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | 有 | 無 | |